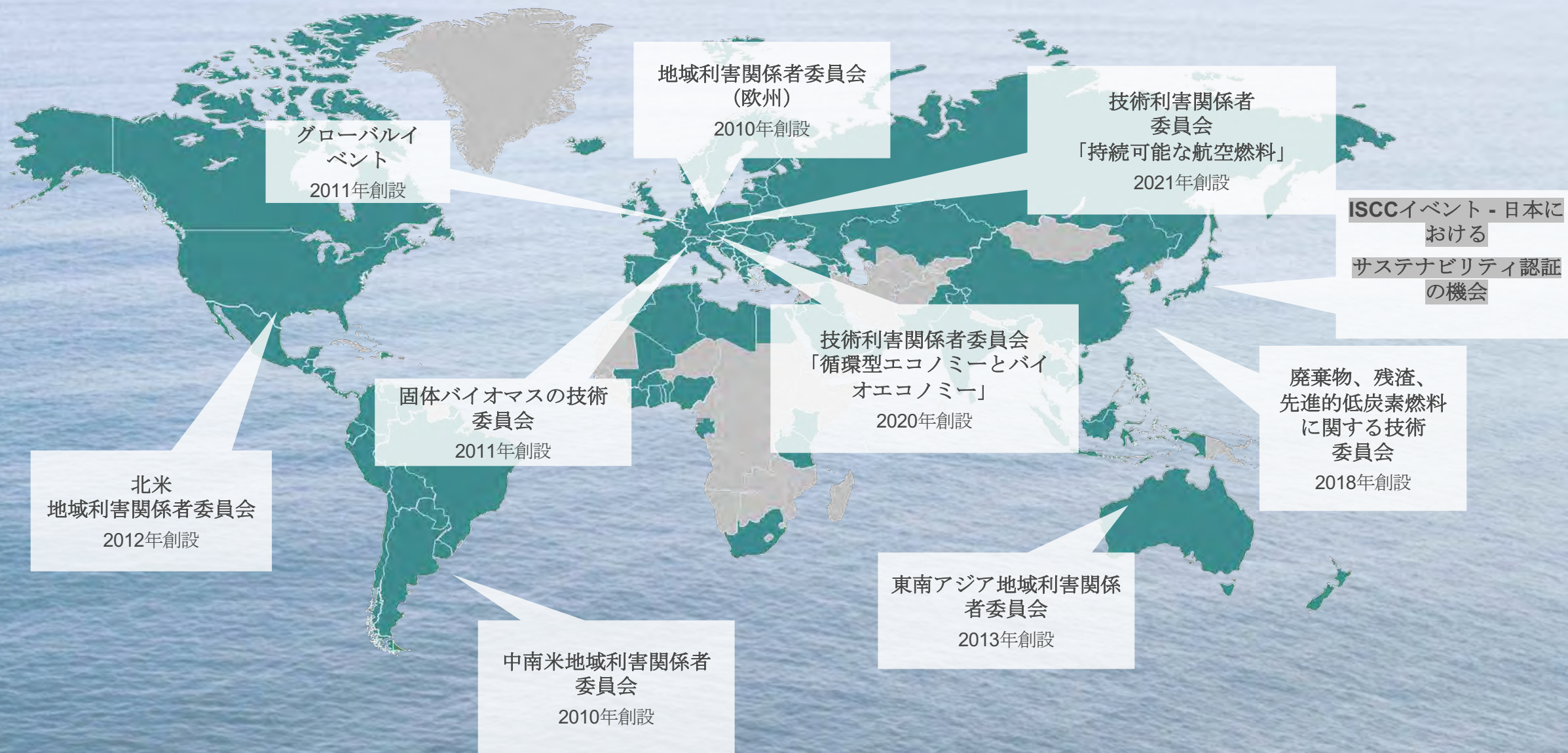




ISCCの概要と日本市場に関する最新情報

ISCCは利害関係者との定期的かつ地域的な協議に重点を置いています



ISCC協会は、現在214名の会員によって構成される、多様な利害関係者の参加するイニシアチブです。新規会員をいつでも歓迎しています！



ISCCは、実績と信頼性の高い認証基準です



**ISCC認証は、グローバルなサプライチェーンでのサステナビリティとGHG
排出量低減を保証します**

ISCC認証は次を保証します



原材料生産におけるサステナビリティ



サプライチェーンを通じての持続
可能な原材料のトレーサビリティ



GHG排出削減量の確認

ISCCは世界100カ国以上で適用されている主要な認証スキームであり、約6,000社が認証を受けています

例



ISCCはあらゆる市場のあらゆる持続可能な原材料を認証します



食品



原材料



エネルギー



産業への応用

農林業からのあらゆる種類の原材料でISCCに基づく認証が可能です

例



大豆



菜種/キャノーラ



パーム



ひまわり



穀類



トウモロコシ



サトウキビ



テンサイ



木材



綿



シアナッツ



カメリナ

さらにISCCは、廃棄物および残渣に対する認証の主要システムであり、革新的な原材料に焦点を充てています

例

廃棄物および加工残渣



使用済み食用油



埋立地ガス



トール油

再生可能な非バイオ原材料



再生可能電力



林業/農業の作物残渣



林業残渣



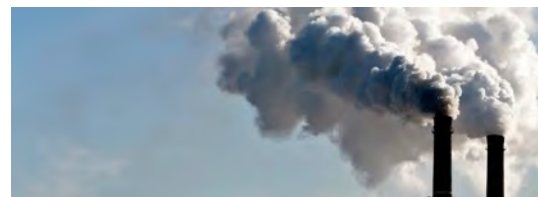
廃タイヤ



都市固形廃棄物/
混合プラスチック
廃棄物



粗グリセリン



二酸化炭素



籾殻



わら

ISCCは3つの認証システムを提供し、市場に応じた適用が可能です

ISCC EU



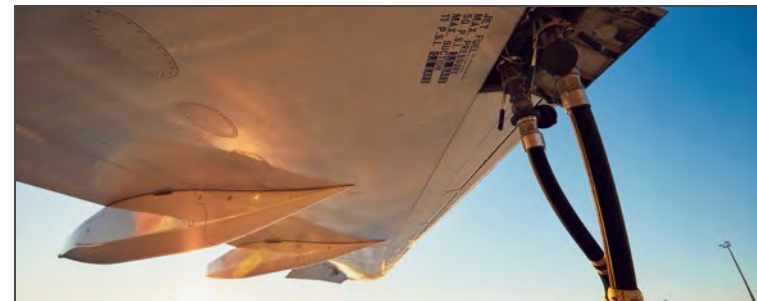
- EU内の輸送、電気、冷暖房に使用される持続可能な燃料に適用可能
- RED II（再生可能エネルギー指令）に規定されたバイオ燃料、バイオリキッド、バイオマス燃料のEUのサステナビリティ基準に準拠していることを証明する

ISCC PLUS



- 任意市場および一部の規制市場に適用
 - EU圏外のエネルギーとバイオ燃料（日本、オーストラリアなど）
 - 産業への応用
 - 食品および飼料市場

ISCC CORSIA



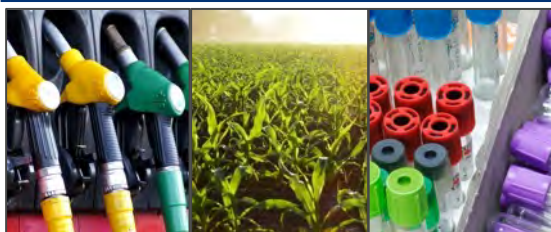
- ICAO CORSIAに基づく持続可能な航空燃料に適用可能
- CORSIA適格燃料のサステナビリティ基準およびGHG基準への準拠を証明するため

ISCC EU、ISCC PLUS、ISCC CORSIAはそれぞれ独立したシステムです。システムの要素を整合することで、複合監査が促進されます

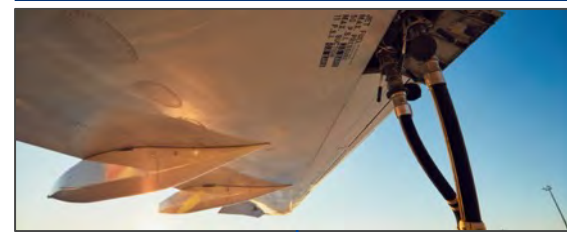
ISCC EU



ISCC PLUS



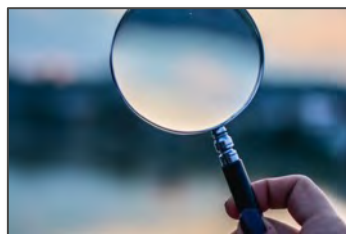
ISCC CORSIA



多様な利害関係者による組織



品質およびリスク管理



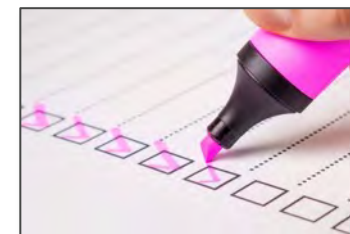
インテグリティに関するプログラム



認証団体に関する要件



監査実施に関する要件

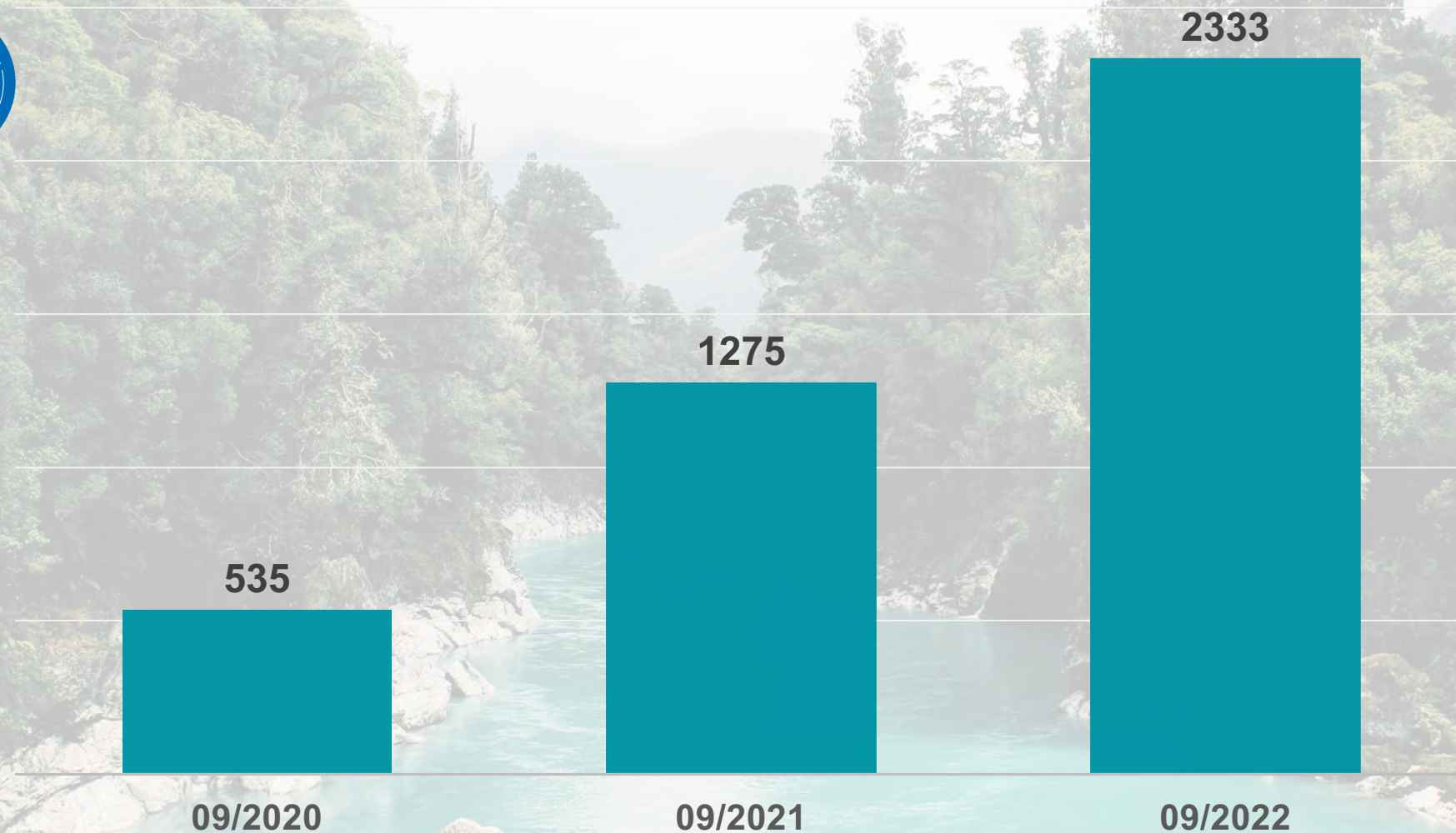


登録および認証プロセス

ISCC認証を受けた企業の数は数年前から大幅に増加しています



有効なISCC PLUS認証



ISCC認証を受けた/ISCCライセンスを取得したブランド所有者が増加しています。

日本でもAEONがすでに製品上にロゴを使用しています



pigeon

ATRIA



Swedish Match.



Beiersdorf



BRITISH AMERICAN TOBACCO

例



ace & tate

DELIZIO

GENTLE MONSTER

Mondelēz International



PEPSICO



Orkla

REN CLEAN SKINCARE



KraftHeinz



Hpm



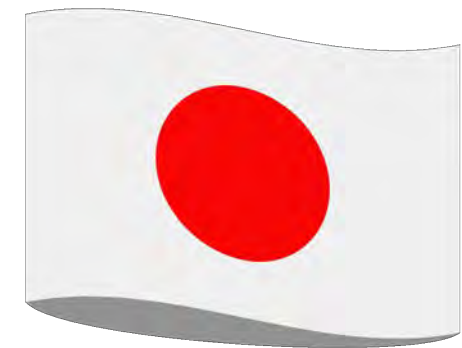
Tupperware



FRONERI

Mölnlycke

日本におけるISCC認証 – これまでの進展、現状、今後の見通し



これまでの進展と現状

- 2012年以降、日本企業に対して**187**のISCC認証が発行された：
 - ISCC EU : 107 (現在有効な認証は19)
 - 認証は主に廃棄物/残渣に関連するもの (UCOやUCOベースのバイオ燃料など)
 - ISCC PLUS : 80 (現在有効な認証は65)
 - 認証は主に科学セクターによる

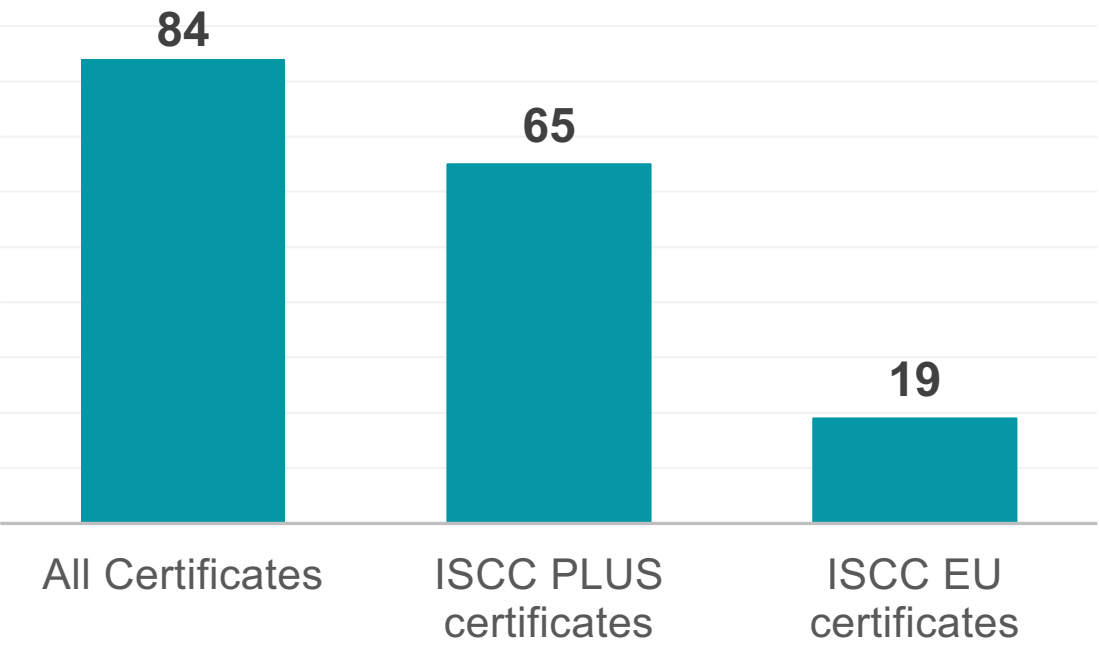
今後の見通し

- 日本の化学業界は世界で**4**番目の規模*であるため、循環型およびバイオベースの原材料や製品に対する信頼性の高いサステナビリティ認証の重要性はさらに増していく
 - ISCC PLUS認証は日本におけるISCC認証の前向きな発展の主要な推進要素であり続けることが期待される
- 発電については、日本の**FIT** (固定価格買取制度) が、サステナビリティ要件を満たす必要のある再生可能原材料の使用に対するインセンティブとなっている
 - ISCCは、再生可能な資源による発電のための一部の原材料を対象とする認証基準を定めている
- ISCCと協力している認証機関が日本で活発な動きを見せつつあることで、日本企業がISCC認証をさらに利用しやすくなる

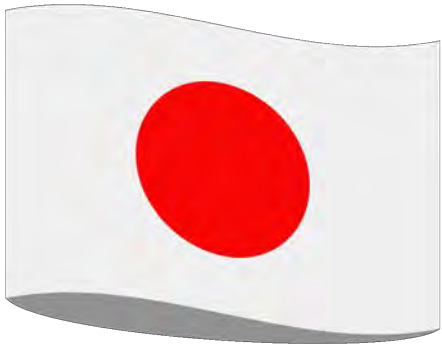
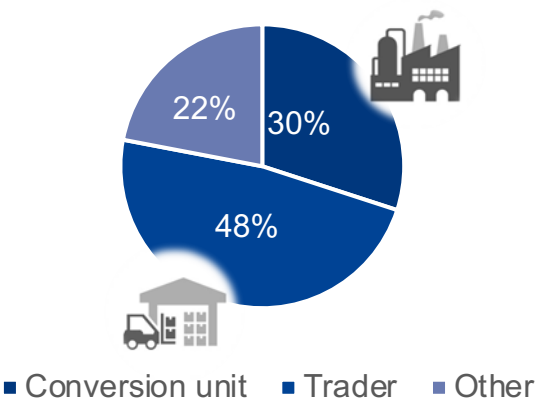
* 出典 : www.statista.com

日本市場におけるISCC認証の現在の件数

日本市場における現在有効なISCC認証*



ISCC PLUS
認証の対象範囲*



以下の認証団体により発行:

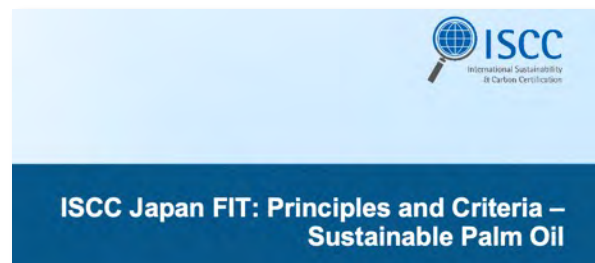
- China Quality Certification Centre (CQC)
- Control Union Certifications Germany GmbH
- DIN CERTCO Gesellschaft für Konformitätsbewertung
- mbH, Berlin
- SCS Global Services、
- SGS Germany GmbH
- Trans Certification International Sdn Bhd

* 2022年9月時点の件数

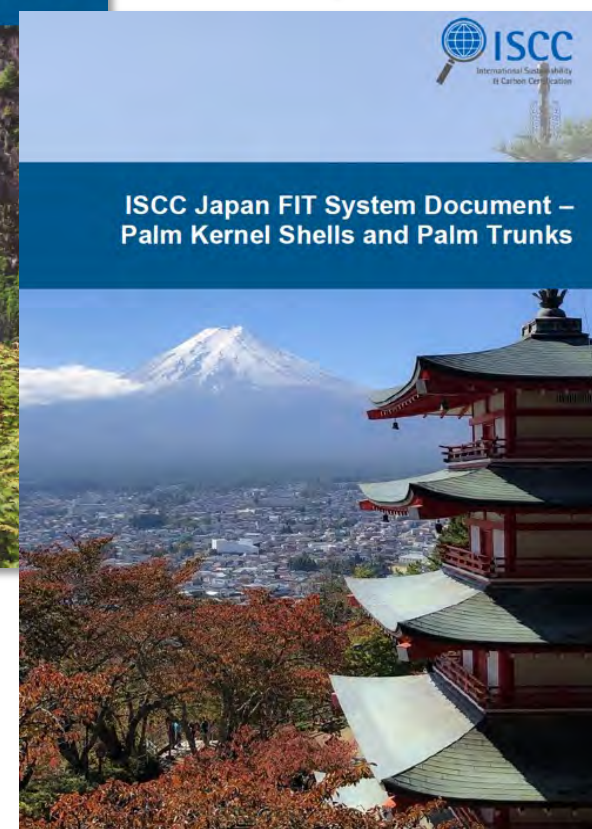
各認証は複数の業務の範囲や種類に対して発行される場合がある

ISCCは、日本の発電に対するFIT要件に沿った持続可能なパーム油、パームヤシ殻、パームトランクの認証に取り組んでいます

METI*による承認
申請中



2022年4月以降に
METI*による承認取得



* 日本経済産業省



ご清聴ありがとうございました。

ISCC System GmbH
Hohenzollernring 72, 50672 Cologne, Germany

Follow us on    